

七色に咲く空中花壇

屋上庭園サポーター ハンギングバスケット作り



「屋上庭園サポーター養成講座」(全6回)の第3回目「ハンギングバスケット作り」が12月16日にありました。講師は緑化コンサルタントの小山隆一さんとハンギングバスケットマスターの上田奈美さん。OB2名を含む12名の受講生が参加しました。グリーンアドバイザーの脇本美奈さんが全体をサポートしました。

(記事・写真=菊地喜子さん・椎野眞吾さん・江上二三雄さん)

「ハンギングバスケット」とは専用のプランターに花を寄せ

植え、壁に掛けたりぶら下げ人の視線の高さで鑑賞できるようにしたもの。英国が発祥といわれます。

今回は、全体が花で包まれる専用プランターを使用。それにビオラや葉牡丹、花かんざしなど14種類の花を、手本を見ながら植えていきます。水苔を敷き詰め完成です。

水を含むと重さ5~6キロになるので、屋上庭園の壁に掛けてから水やりしました。

70代の岩崎賢子さんは「10年前にイギリスに行った時ハンギングバスケットが町中にあっ

て、とても嬉しかったです」と話していました。

60代の方は「初めて参加して、花にふれて、感激しました。みんな一度は体験すべきです」と話していました。

■屋上庭園サポーター養成講座

【日時】毎月第3月曜日

午前10時~12時

【場所】ささえーる薬王寺

【講師】小山隆一さん 他

■卒業生・受講生有志が

「花と緑のボランティア活動」

ご相談はささえあい活動支援員・岩井まで